

「地域の中核、世界の人材」 U N I V E R S I T Y O F Y A M A N A S H I

山梨大学広報[ヴァイン]

August 2010 vol.11

Vine

ライフサイエンス 特進コース

～全国に先駆けた医学部学生への早期英才研究教育～

ライフサイエンス特進コース委員会 委員長
大学院医学工学総合研究部 分子情報伝達学講座
教授 北村正敬

[人物発掘]

小山勝弘 准教授

(教育人間科学部保健体育講座)

[びっくあっぷレッスン]

応用化学実験II

[ゼミ紹介]

教育人間科学部幼児教育講座

サークル紹介/クローズアップびーふる/気になるお店





ライフサイエンス特進コース

～全国に先駆けた医学部学生への早期英才研究教育～



（創設の背景）

山梨大学は平成15年に大学院大学として生まれ変わり、その基本理念として「世界の人材」の育成を唱っています。大学院大学における「世界の人材」の育成とは、将来、世界の

最先端で各分野の活動を担う先進的研究者を育成することであり、そのためには若い学部学生が、高いレベルの先端的研究に、早期に深く関わってゆくことが不可欠です。ですが医学部学生の場合、卒業後には臨床研修が待っており、本格的な研究活動に入る時期が遅くならざるを得ません。また研修終了後

も、多忙を極める臨床医としての日々の中で、世界に通用する研究基盤を身につける事は容易ではありません。言い換えれば、医学部学生にとって、卒業後大きなハンディキャップを背負って研究をスタートしなくてはならない厳しい現実があります。

本学に限らず、医学部に入学する学生の多くは、臨床医になることを目指しています。従ってほとんどの学生が、「基礎研究など自分には関係がない」と思いがちですが、それは大きな誤解です。基礎医学に進もうとする医学生は勿論ですが、将来臨床医をめざす医学生にとっても、基礎研究に関する知識と経験は今や不可欠のものとなりつつあります。たとえば今話題のiPS細胞による再生医療や遺伝子治療ですが、担当医に生命科学に関する確固たる知識と経験がなければ話になりません。少なくとも大学病院や地域の基幹病院で活躍をしたい、そう願う者にとって、たとえ臨床医であっても基礎医学研究の



ライフサイエンス特進コース委員会
委員長
大学院医学工学総合研究部
分子情報伝達学講座
教授 北村正敬



豊富な経験と実績が必要不可欠なのです。そうした意味でも若い医学生が、高レベルの先端的研究に早期に深く関わってゆくことが極めて重要なのですが、現行の医学教育ではほとんどそうした配慮がなされてはならず、医学部教育の解決すべき課題となっています。

（特進コースの概要）

こうした問題を克服するため、将来基礎医学研究や臨床医学研究を志す医学科学生に対し、従来の枠組を超えたシステムで研究者としての早期英才教育を施し、世界の第一線で活躍しうる「世界の人材」を育成することを目的に、平成17年「ラ

イフサイエンス特進コース」を創設しました。このコースは、毎年医学科学生（1年次生）を対象に「特待生」を募集し、大学院講座に受け入れ、在学中を通じて大学院に準じた研究教育を行うものです。そして医学部卒業時には、大学院博士課程修了者に比肩する研究能力と研究業績を有する研究者に育てることを目標にしています。このような制度を確立・実施し、医学生の研究教育に本腰で取り組み、かつ国際的な業績をあげている大学は他に類例がありません。本コースの取組みの要点を、少し詳しく以下に述べてみましょう。



1. 医学科新生を対象に説明会と特待生の募集を行ない、大学院講座に受け入れます。原則として、毎年各講座に1名の学生が配属されます。
2. 大学院生と同様に特待生にはベンチ（実験スペース）とデスクが与えられ、その研究指導には教員および上級の大学院生が当たり、マン・ツー・マンで最先端の生命科学の知見を教授し、また研究指導を行います。学費は不要です。
3. 研究は課外時間や学期間の長期休暇を利用して行ない、各講座で行なわれる抄読会や勉強会、また特待生のため



lifescience

の「特別教育セミナー」や「研究成果発表会」、さらには「冬季セミナー合宿」を通じて研究者としての基礎を養成します。

4. 特待生には個別に研究テーマが与えられ、その研究成果は筆頭著者として論文に纏め、国内外での学会発表や国際学術雑誌への投稿を行います。
5. 特進コース在籍期間中に優れた業績を上げた学生は、卒業後その業績をもとに博士号(医科学博士、医学博士)を短期(1~3年)で取得することが可能です。その際、大学院の学費減免に関する優遇措置を優先的に受ける事もできます。



このようなトレーニングを通じ、研究者として自立するための基礎的知識と技術を学部時代に習得し、学部卒業と同時に世界の第一線で活躍できるだけの知的^{リテラシー}を培い、将来の飛躍(研究助成金・フェローシップ・アカデミックポストの獲得、海外留学等)の礎となる研究業績の蓄積を目指しています。

(これまでの実績)

ライフサイエンス特進コースは、平成17年に分子情報伝達学講座で試験的に始まった試みですが、本学の「戦略的プロジェクト」として大学より継続的な支援を受けつつ体制を整備し、基礎医学系だけでなく臨床医学系講座も参画する形で徐々に規模を拡大、今では在籍学生30余名、計16講座が参画するまでになりました。また特待生のモチベーションを高めるため、2007年度から外部の著名な特別講師を招聘して「特進コース特別教育セミナー」を開催するとともに、特待生のレベルアップを目的に2008年度から「特進コース研究発表会」を、また2009年度から「冬季セミナー合宿(リトリート)」をスタートさせています。特待生の業績も着実にあがっており、これまで6名の学生が筆頭著者として国際学術誌に論文を発表し、

共著論文を含めた特待生の総論文数は17報に上ります。また国内・国際学会での発表数は14演題を数え、対外的にもその業績が認められ、2008年度および2009年度には当コース特待生が「日本学生支援機構優秀学生顕彰」の学術部門で「大賞」を連続受賞しました。こうした成果を全国に紹介するため、この4月よりライフサイエンス特進コースのホームページ(<http://www.med.yamanashi.ac.jp/lifescience/>)を立ち上げ、その取組みと業績を一般公開しています。今後はこの制度の更なる拡充と実質化を図るとともに、わが国における医学生への研究教育の先駆けとなるべく、教員・学生一体となって努力を続けて行きたいと思っています。

(私たちが目指すもの)

マスプロ的な大学教育が主流である今日、あえて少数精鋭、マン・ツウ・マンで最先端の研究指導を行ない、世界の第一線で活躍する人材を育成したい、それが私たちの願いです。共に真摯に研究に取り組み、成果の発表

を行う後押しをする、またそれをベースに各人の次なるステップ(留学やポストの獲得)に向けた確固たる基盤を確立する手助けをする、それが私たち教員の責務と考えています。ですが私たちは、決して業績至上主義を信奉する者ではありません。日々の研究は、ただ単にがむしやりに業績を追求することだけが目的ではありません。研究活動を通じ、ひとりひとりがかけがえのない出会いを経験し、人との協調性を高め、優れた社会性と人間性を養い、また自らの立場や責務を自覚し全うできる人間、信頼され尊敬されるひとりの社会人に成長すること、それが何より大切なことと考えています。

志のある学生諸君と出逢い、共に思索を深め、真理を探究し、研究に邁進できることを、私たちは心から望んでいます。こうしたユニークな研究教育システムを持つ山梨大学医学部に、全国各地から多くの優秀な学生が集うことを、心から期待しています。



人物 発掘



Koyama
Katsuhiro

小山勝弘准教授

(教育人間科学部 保健体育講座)

筑波大学大学院を修了し、兵庫医科大学大学院を経て本学の教員に。講道館柔道五段の資格を持ち、「高齢化社会における『運動生理学(スポーツ医学)』の意義を理解し、世の中にその重要性を主張したい。」と語る小山勝弘准教授にお話を伺いました。

講道館柔道五段をお持ちですが、柔道やスポーツにまつわるエピソードはありますか？

柔道は小学校から始め、小中高と県内で優勝し、インターハイなどの全国大会に何度も出場しました。私は栃木県の国分寺町(現在は下野市)という町で育ち、自宅周辺は全国98%以上のシェアを占める干瓢の一大生産地なのですが、幼稚園児のころから強烈な干瓢づくりの臭いの中でよく走っていました。あまりに臭いので、干瓢畑を走り過ぎ



るまで息を止めて全力疾走していましたね。毎日裸でマラソンをする珍しい幼稚園に通い、年長の時には、小学校5・6年生の持久力を持っているとして地元新聞に良く掲載されていました。ある意味では、スポーツの英才教育を受けていたような感じです。

大学では両膝の靭帯を損傷してしまい、最初の2年間は忍耐の日々でしたが、柔道スタイルを変え、3年生からレギュラーになり、インカレではベスト8の成績を残しました。

余談ですが、本当になりたかったのは、プロ野球の選手です。純粹に野球が好きで、それに加えて野球は女の子が応援に来てくれますからね!今も野球は大好きで、福岡ドーム(現Yahooドーム)のファン感謝デーに遠投競技があって、ピッチャーマウンドから外野スタンド2階席まで投げて、賞品としてマスコット人形をもらったりしています。

調理師免許をお持ちですが、食べ物にはこだわりがあるのですか。

どんな食べ物、料理にも歴史があります。それを理解し、感謝しながら食べるととても幸せ

な気分になります。最近、「体に悪い食べ物」などという表現を目にすることがありますが、本来、体に悪い食べ物などありませんよね。「食べ方」の問題で体に悪影響を及ぼしている場合はありますが。だからいろいろな国のローカルな食べ物に興味があり、ワインも大好きです。

将来は、海岸近くに住んで、ロッキングチェアにすわって海を見ながら家族と魚料理を食べるのが夢です。

高校時代はどんな学生でしたか？

今では珍しい完全男子校(女性は保健室の先生のみ)でした。

一応、進学校だったため、毎日の勉強(予習と復習)と部活動に没頭していた高校時代でした。高校までは1時間ほどの電車通学でしたので、その時間を有効活用するため、シートには座らず、立ったまま本を読んでいた。この時、私達人間は立ちながら居眠りしても倒れないということを学びました。後でわかったことですが、これを「姿勢反射」というそうです。この「姿勢反射」を体験したこ

とが、スポーツ医学との最初の出会いだったと思います。

もう一度高校生に戻れるとしたら、もっと英語(会話)の勉強をしたいですね。当時は重要性に気づいていなかったのですが、筑波大学に進学後、多くの外国人と柔道をする機会があり、英語、特に会話の勉強をしておけばよかったと痛感しました。

筑波大学大学院で体育学を学んだ後、 兵庫医科大学大学院に 進もうと思ったきっかけは何ですか？

もともと筑波大学大学院では、「運動生理学(スポーツ医学)」を専攻していましたが、体育の世界から見る事ができる世界は限りがあるため、医学の世界から「運動生理学(スポーツ医学)」の意義を再確認し、社会にその重要性を主張したいと思ったことです。

兵庫医科大学大学院では、筑波大学大学院で経験できなかったことにも挑戦し、深く探求する時間と設備を活用できたことは非常に幸せだったと思っています。

大学の教員となったきっかけ、 動機はなんですか？

卒業論文や修士論文の作成に取り組む中で、「知らないことを知る喜び」を強く実感したためです。特に、体の仕組みの深遠さには、生涯をかけて探求していく価値があると感じました。

山梨大学に採用となった時は、人生で最も嬉しかった瞬間の一つですね。

では、どんな事に やり甲斐を感じていますか？

学生時代、「科学する心」の大切さを主張しつつ「遊び心」も大切にする研究室の恩師に非常に強い影響を受けました。大学教員となった今、その思想を受け継ぎ、学生には研究(勉強)と遊びに全力で取り組む「メリハリのある生活」をして欲しいと願っています。

「運動生理学(スポーツ医学)」の研究を進めていくと、今まで点でしか捉えられなかった世界が、ある時、にわかに線で繋がり広がることに気づきます。そしてこの研究の延長線上に、人々の健康

があり、幸せがあり、僅かでもそれに貢献できると思えることにやり甲斐を感じています。

また、本学では柔道部監督をしています。日頃から練習に励む部員を見ていると、自分も大学生に戻った気分になり、毎日楽しく指導を行っています。

今の大学生に一言

学生というモラトリアムを最大限有効活用し、沢山挑戦し、沢山失敗して欲しいですね。大学では何が身につくか、何を教えてもらえるかといった、与えられるのを待つ受身姿勢ではなく、自分自身から何を身に付けたいか、何を学びたいかを考え、貪欲に大学の教職員や施設を活用して欲しいと思います。それは結局のところ、学ぶ価値を知らない世界、学ぶ価値が分からないものに触れて、その意義を体感することだと思います。大学にはそのチャンスが一杯ありますので、大いに楽しみ大きく化けてください。

それから個人的には、アルバイトや親に借金をしてでも、学生時代に海外を経験すべきだと思います。グローバル時代を生きていく準備運動ですね。

これから受験する高校生に一言

社会に出てから思う存分人生を楽しむためには、基礎的な人間力が必要で、その基本は「学力」と「精神力も含めた体力」だと思います。高校生の眼前にある教科の勉強は、ともすれば退屈になりがちですが、将来の選択肢の広がり確保するためには絶対に必要で、不要な教科はないと思います。もっと勉強や運動を高校生の時にやっておけば良かったと思う社会人は非常に多いです。

皆さんは羨ましい時期を過ごしていると思います。他人との比較はともかく、今の自分よりも少しでも優れた「学力」と「精神力も含めた体力」を身に付けられるように高校時代を過ごし、山梨大学に入学してきて欲しいです。

基本は「学力」と「精神力も含めた体力」です。それらを身につけることは必ず社会で役立ちます。



【略歴】

- 1991年3月 筑波大学 体育専門学群卒業
- 1993年3月 筑波大学大学院体育研究科 修士課程修了
- 1997年3月 兵庫医科大学大学院医学研究科 博士課程修了
- 1999年4月 山梨大学講師
- 2001年11月 山梨大学助教授
- 2007年4月 山梨大学准教授

【専門分野】

運動生理学 運動生化学 健康科学

【研究テーマ】

運動(Exercise)と以下のキーワードに関する研究
痛風・核酸代謝(Purine/Pyrimidine Metabolism)
活性酸素種(Reactive Oxygen Species)
低酸素(Hypoxia)
水素(Hydrogen)
骨(Bone)

Koyama
Katsuhiko





[担当教員]
工学部応用化学科
柴田正実 教授
柳 博 准教授
宮嶋尚哉 助教

[到達目標]

実験を通して、無機化学工業の生産方式や電気化学の基礎と応用に関する基礎的な知識・技術を取得することを目標としています。また、実験器具、実験装置の扱い方を修得することも目標の1つとなっています。

[授業の概要]

この授業は3年生が対象となっていて、今まで教科書等を使って学習してきた内容を基に構成されています。この実習体験を通して無機及び電気化学の一般的な工学的知見が得

られるように実験課題は組み立てられています。2~3人の班に別れて、6週間にわたって、週2日実験を行います。本年度は、「ヒドロキシアパタイトの陽イオン交換反応」、「ミョウバンの合成と結晶の育成」、「水中におけるKOHの拡散」、「電解質溶液の電気伝導率」、「電極電位と電池の起電力」、「水の電気分解と燃料電池モデル実験」、「反応熱の測定」の7つの実験テーマがあり、すべての学生がすべてのテーマの実験を行うようになっています。合成や滴定などいかにも化学らしい実験から、電流や電圧の測定をする少し物理に近いような実験、さらには自分たちで装置の一部を作る実験まで様々なものがあります。

この授業も他の授業と同じように、「予習→授業→復習」の流れで行われます。実験を安全かつ、効率的に進めるために予習はとても重要です。予習の段階では先生方が作成した指導書をよく読み、実験の手順、装置や器具の使用法、また装置の原理などを理解します。実験は基本的には自分たちで進めていきますが、操作で分からないことや、疑問に感じたことなどはその場で先生方や先輩に質問することができます。

実験終了後はテーマごとにレポートを作成します。得られたデータから表やグラフをつくったり、指導書の設問を解いたりします。レポートを作ることによって実験への理解を深めることができます。また、今まで図や式を用いて学習してきた内容をより具体的に理解することにもつながります。

学生からは「レポートがたいへん!!」という声をよく聞きますが、実験そのものは「楽しい」、「面白い」という話もよく耳にします。実験を楽しみながら、化学への理解をより一層深めてほしいと思います。

応用化学実験Ⅱ





ゼミの構成

私の担当は、幼児教育学です。ゼミでは、乳幼児や子どもの育ち、保育、文化などについて学習・研究をしています。私自身の専門は教育史ですが、可能な限り他の手法も使います。通常、ゼミ生が配属されるのは3年次後期からで、1学年5人前後です。

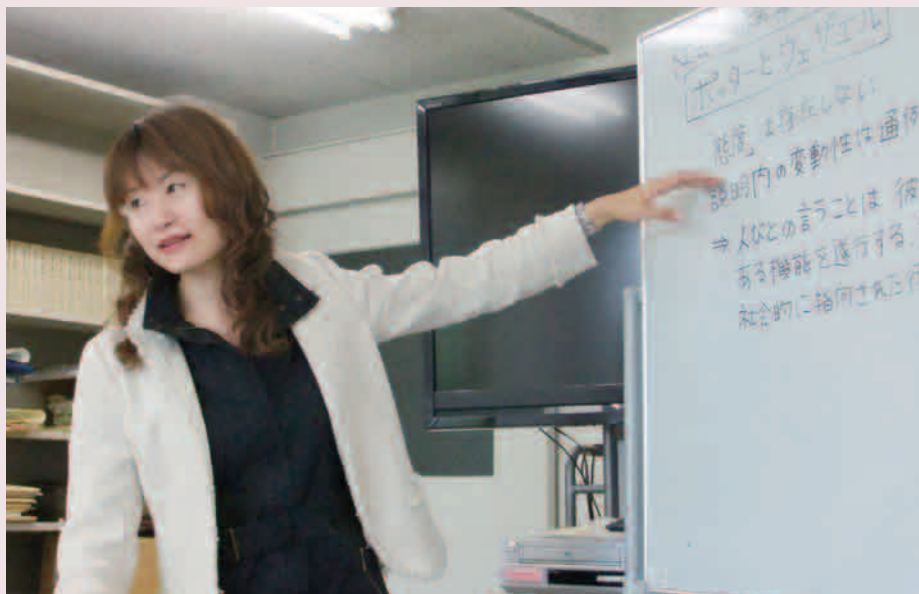
ゼミの進行

ゼミでは、主に2種類の勉強をします。ひとつは、主に文献講読を通じて、幼児教育学や教育学について勉強すること。もうひとつは、卒業論文を作成することです。

4年次前期までは、文献講読を中心にゼミが進行します。決まった文献を読む、レポート担当者はレポートをつくる、これが1週間のゼミの宿題です。という楽勝^{うな}という感じですが、いつも学生は唸^{うな}っています。唸る原因は、文献にあります。

幼児教育学を研究するために

幼児教育について研究するには、批判ということ学ぶことが大切です。現行の幼児教育のあり方や制度、おもちゃ・絵本・マンガなどの文化財、衣食に関することなど、幼児教育学研究のテーマはたくさんあります。これ



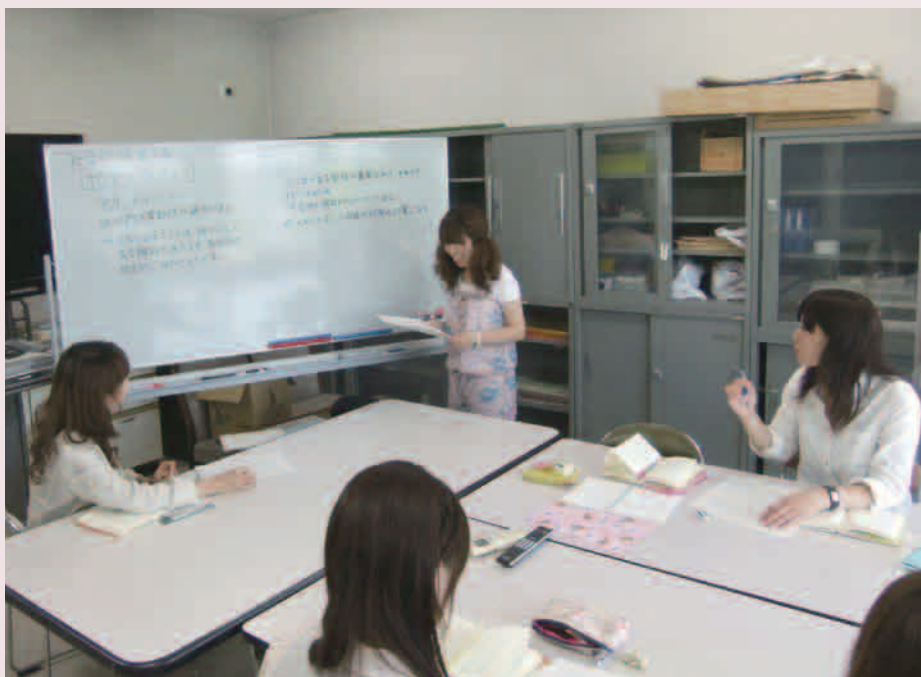
らはどれも、過度に「教育的」だったり、商業主義と結びついたり、小さな子どもだからと軽視されたりしています。学生がこれらについての最初の印象から抜け出て考察するためには、情報を集めたり保育について学ぶだけでなく、教育学を学んだり、社会学、歴史学、心理学など他分野の成果を援用しなければなりません。そのためゼミ生には、まずは難しい文献に挑戦してもらいます。今年度のゼミ生は、『幼児の対人関係』(M.メルロ=ポンティ)や『社会的構築主義への招待』(V.バー)を読んできました。

卒業論文のテーマ

卒業論文のテーマは、3年次後期から考えていきます。今年度は、「知育玩具と子どもの『賢さ』」「学校制度と進路選択」「少年マンガにみる家族像」などがあがっています。観察やアンケート、インタビュー、言説分析のほか、教育史的視点から考察を深めていきます。ゼミでは、前期は1~2か月に1回程度、後期は毎週進捗状況を報告し、みんなで課題について意見を交換します。

考える保育者に

学生の進路は、幼稚園、保育園への就職を主として、教員、公務員、企業、進学などさまざまです。保育者になったら、まずは園の保育方針を学ぶことになります。そこに適応するためだけなら、考える学生を育てる必要はありません。しかし私は、そのなかでも小さな疑問を捨てずに、少しずつ学びを深めて解決していく姿勢のある保育者になって欲しいと願っています。



GATS ギャッツです!



こんにちは! GATSです!! GATSは2009年4月から本格的に活動を始め、現在メンバーは80人!一時期は10人前後の時もあったんですが、それでも元気にやっています!GATSです! GATSはギャッツと読んでくださいね!緑が丘のおじさんはいつもガッツとかゲッツとか言うけれど、違います!ギャッツです! 何をやっているかという、バスケ・バレーを中心に毎週木曜日19時から活動しています。あとは、気まぐれにボーリングとか缶けりとか、その他もろもろ!!県立大学の学生や、OG・OBの先輩方とも合同で、とても賑やかに楽しく活動しています♪ 当初「梨大で一番アットホームで良質なサークルをつくりたい!」という思いで、初代サークル長がこのサークルを立ち上げ、GATSの活動がスタートしました。

最初はなかなかうまくいかなかったんですが、何とかVineに掲

載されるまで来られました。

皆さんには本当に感謝しております。次は表紙にでも使ってくれないかな…(笑)大学生は広く浅い付き合いが多くなりがちだけど、そんなじゃなくて、「一生付き合っている」、「ぶつかり合っても、悪口を言い合っても何だかんだ友達」、そんな仲間が集まるサークルを目標にしています。だから経験者も未経験者も、初めて参加も

飛び入り参加でも関係なく、とにかくみんなが楽しめるサークルでありたいという思いで現在もサークルのあり方を模索しながら頑張っています。

今のメンバーは「スポーツが好き!」「友達、仲間を作りたい」「とにかく楽しみたい」と思っている人たちが集まっているような気がします。メンバーもみんな個性豊かで、まとめるのはとても大変ですが、いつも刺激的でファンキーでモンキーでベイバーな感じですよ!

まだまだ生まれたてのサークルで、伝統も決まりごともないので、日々の運営や企画ごとが大変な時もあります。でも、だから

こそみんなで創っていききたいんです!

**GATSをみんなで
成長させていけたらいいなと思っています。**
ということで、
**イベントを企画してみたいとか、
何か1からやってみたい!
なんて人も大歓迎ですよ!!
待ってるよ!!**

最近、世間は皆なんだか、病んで大変そうです。でもね!そんな笑って吹き飛ばしちゃいましょうよ!とにかく!みんなと出会えることを楽しみに待っていますね。



S (支えあえる)

T (友達を。)

A (あなたの周りには)

G (元気がいっぱい)

逆から読むと…GATSになるんです。
これがGATSの本当の意味。
GATSでした!!またね!!!

こんにちは!山梨大学医学部弓道部です!

現在私たちは総勢50名ほどで毎週月、水、土の週3回、医学部キャンパスの弓道場で練習をしています。部活中は、基本的には的に向かって矢を放つ「射」の練習ですが、「体配」という矢を放つまでの一連の流れも含めて、先生に教わりながら練習しています。

ところで、皆さんは「弓道」についてどれくらい知っていますか? 「武道」「袴を着る」「的にあてる」…など多少の知識はあるかと思いますが、詳しい内容まで知っている人は案外少ないのではないのでしょうか。たとえば、「的にあてる」ことに関して。弓道ではアーチェリーと違って的にどこに当たったかによって点数が左右されたりするような事はありません。大会においても「中り(あたり)」か「外れ」のどちらかで、何本あたったかによって勝負がつきます。「的にあてるだけなら簡単じゃないだろうか」と思うかもしれませんが、なかなかそういう訳にもいきません。実際弓を引いてみると、肉体面、精神面でのあらゆる要素が中り(あたり)に影響してくることに驚きます。

肉体面では、日常生活ではあまり使わない筋肉を使うため、毎日の練習がとても大切です。そのため、正規の練習日に加え、自主練をしている部員も多くいます。また、精神面では、的にあてたいという気持ちが先行してしまうと集中力を欠き、うまく弓が引けなくなってしまう事が多く、どれだけ自分を見失わずに引けるかが重要になってきます。…と、そんな事を言ってしまうと弓道がとても難しいものであるような気がしてしまうかもしれませんが、そんなことはありません。部員のほとんどが大学から弓道を始めた初心者ばかりで、最初はまともに矢を飛ばすことなんてできませんでした。でも先輩や先生の指導のもと、一年も練習すれば、みんなかっこよく引けるようになってしまうのだからなかなか不思議



試合の様子

議。一生懸命引いた矢が的に「ばーんっ」とあたったときの嬉しさは格別です!!

また、私たちの部では毎年、慶應義塾大学、東京医科歯科大学、浜松医科大学、信州大学と対抗戦を行っています。対抗戦のときには、一緒にお昼ご飯を食べたり、交流会をしたりするので、相手校の人達ともすごく仲良くなることができます♪

立禅ともいわれる弓道の奥深さ、指導を通じて生まれる先輩後輩の絆、部活内の結束力…この部の魅力は簡単には語りつくせない!

そんな弓道部ですが、今年も「公式戦での優勝」と「審査での昇段」を目標にして、医学科・看護科みんな一緒に頑張ります!!



2010年 春の開東大会(宇都宮)にて

弓道は自分自身との戦い!
精進への第一歩は自分を制するところから始まる!!



〈サークル紹介〉

医学部 **弓道部**

医学部

CAMPUS

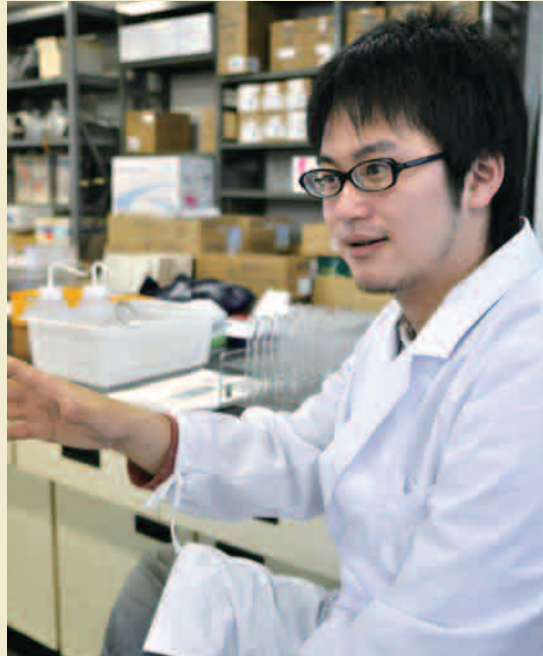
close-up people



しっかりと患者さんの話を聞ける医師になりたい◎医学部医学科3年生 藤原 鷹さん

部活は何をされていますか？

部活はゴルフ部です。たまにゴルフ部ですって言うのと『えっ、この大学にゴルフ部あったんだ』って言われるけどちゃんとありますよ(笑) まあもう少し広く広告してもいいかもしれないですかね？というわけでこれを見た方は梨大ゴルフ部を覚えておいて下さいね。部員は年中募集中!あと学祭委員会とかもやってます。



ゴルフをやってきて一番印象に残っていることは？

コースへ行ってるときがやっぱり印象に残ってるかなあ…
 その中ではこのコースはどう攻めようかな?どこ狙おうかな?とか考えてそれが上手くいった時はかなり嬉しいですね。あと偶然が重なって330Yをワンオンした時も印象に残ってるかな。他には初めてバーディー取った時とか一番いいスコアだった時とか大会出た時とか初めてコースへ行った時とか…1番は決められないです。楽しいから皆さん一回やってみて下さい(^-^)
 きっかけがほしい方はぜひゴルフ部へ来てみて下さいね。



大学生活はどうですか?勉強はどのくらいしていますか?

平日は朝起きて大学へ行きます。授業は夕方終わるから遊びに出かけたり部活行ったり遊んだり部活したり…土曜は大体昼前に起きて洗濯とかかな。掃除は気が向いたらやります。ただあまり気が向きません、そしてすぐ汚れます…夕方から部活なんて出掛けて土曜は一日が終わり。日曜は何もやる事が無いからテキトーにフラフラ寂しくなったら誰かに電話してどこか行ったりって感じです。中身が無いように聞こえるけど今の生活結構気に入ってます。あと勉強ですか?テスト前とかにやってる記憶が微かに残ってます。普段からやっているとテスト前はかなり楽になるらしいです!人から聞いた話しただけど…

趣味や、今はまっていることは?

趣味は野球観戦になるのかな?試合の情

報は一応毎日調べてます!

^{ひいき} 鼎頂のチームは中日ドラゴンズなんだけど中日好きな人があまりいないんですよ。そこで、中日ファンだ!という方は一報載けると幸いです
 8月10日に小瀬で中日対横浜やるんで皆さん中日を応援しに行きましょう!
 他にはゲームとか結構好きかな。家にあるゲームやったりゲーセン行ったりはよくします。
 部屋が景品でだんだんファンシーになっていくのは気にしないでおう(笑)。あとは…この前入院した友人にお見舞いでミニ四駆あげたから俺もやろうかな?

山梨大学はどんな大学ですか?

多くの自然に囲まれて素晴らしい教授陣のもと、医学の勉強のみならず精神的にも成長の出来る魅力溢れる大学だと思います。
 と、一応大学を褒めつつ…やっぱり梨大1番の魅力は多くの個性がある人たちが集まるけどいい人たちが揃ってるなということ。僕は入学してから色々な人に色々とお助けしてもらいながら生活してます。もちろん初めに書いたやつも別に嘘じゃないですよ。

将来どんな医師になりたいですか?

将来はしっかりと話の聞ける医師になりたいですね。『忙しいから』とか『無駄だから』みたいな理由でササッと診断するのはなく、しっかりと話を聞いてそれに対してしっかりと答えを言えて患者さんの不安を除くことの出来る医師になりたいです。あ、もちろん病気を治せることは前提です。今、進みたい科があるわけではなく、親も医師じゃないのでこれから色々学んでしっかりと考えていきたいです。

annies CAFE

山梨県南アルプス市上今諏訪457
[電話]055-284-5232
[定休日]月曜日
[営業時間]11:00~20:00
[駐車場]有り



タルトもキッシュも雰囲気も魅力的で可愛さいっぱい。

アニーズカフェは、タルトとキッシュのお店です。季節のフルーツタルトやチョコバナナタルトなど、完熟フルーツがたっぷりのっていて、キラキラして可愛いタルトが種類豊富に並んでいます。

甘く熟したフルーツとさくさくしたタルトの組み合わせは一口食べればもう幸せ☆キッシュもチーズが伸びてとても濃厚。ドリンクが付くセットもあるので、ランチにぴったりです♪タルトとキッシュの美味しさに負けず劣らず魅力的なのが、お店の雰囲気。店員さんがみんなお揃いのバンダナを付けていたり、お店の中もインテリアがとてもおしゃれだったり、隅々まで凝っていて可愛いです。お店中に落ち着いた時間が流れていて、癒されます。

こんなに可愛くて癒されるお店は山梨県で他にないのでは!?ぜひ一度行ってみてください。ハマります☆★



おしゃれな雰囲気の店内でいただく、フルーツいっぱいのタルトやキッシュ



可愛い入口



落ち着いたインテリアの店内

ごちそう家

山梨県甲府市丸の内2丁目16-6
平和ストリートビル2階
[電話]055-228-1541 [定休日]日曜日・祝日
[営業時間]17:00~24:00
23:00(フードラスト) 23:30(ドリンクラスト)



壁いっぱい並べられたお酒

豊富なメニューやお得な料金、
選べるお酒の種類にも大満足。



こだわりの旬のメニュー



入口の看板を目印に2階へ

「お酒を飲みながら友達と語りたい、楽しみたい。」と思うのは大学生になるとよくあることと思います。そんな時、是非勧めたいお店がこの「ごちそう家」です。甲府駅南口から平和通りを右側歩道沿いに歩いて4分の平和ストリートビル2階にあります。お店の中はとて雰囲気がよく、ゆっくり落ち着いて語り合える空間となっています。

メニューはとて豊富で、おつまみや定食、デザートと様々です。また、食材にはこだわりの山梨県産の素材を多数使用しています。そして、毎月変わる旬のメニューはこのお店の特徴の一つです。

このお店の魅力は、メニューや雰囲気だけでなく、「980円で2時間飲み放題」というところも魅力の一つとなっています。そして、その飲み放題で選べるお酒の種類は100種類以上もあり、お酒の種類に飽きることはなく楽しく飲むことが出来ます。いろいろなお酒を飲めるので、どのお酒が自分の口に合うのか試してみるのも楽しいかもしれません。

また、このお店はお酒を頼むだけではなく、数種類ですが自分の好きなお酒を自分で取りに行けるセルフ方式を取っています。ですので、気軽に自分の気になるお酒を自分の好きな量だけ持ってくる事が出来ます。

この夏、ふと友達や先輩、気になるあの人と話したい、楽しみたいと思った時、「ごちそう家」はいかがですか？

「エコチル調査 甲信ユニットセンター」 を設置



甲信ユニットセンター長 山梨大学教授(左)とサブユニットセンター長の野見山 信州大学教授

平成22年度から始まる環境省の「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」で、甲信地域の調査の拠点となる「エコチル調査甲信ユニットセンター」(ユニットセンター長 山梨然太郎大学院医学工学総合研究部教授)が6月3日、山梨大学医学部内に設置されました。同時に、山梨県内の調査対象自治体や協力医療機関、医療、教育及び環境関係諸団体の代表者らで構成する「甲信エコチル調査運営協議会」が発足し、中巨摩郡昭和町のアピオで設立総会を開催しました。

エコチル調査は子どもの健康に影響を与える環境リスクを明らかにするために、全国10万人の妊婦と、その子どもが13歳になるまでを追跡する大規模かつ長期的な疫学調査です。これにより環境中の化学物質などが、胎児期から子どもの健康にどのような影響を及ぼすのかを明らかにし、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを目指します。

山梨大学は全国15カ所の大学医学部等に配備されたユニットセンターの1つである「甲信ユニットセンター」として、サブユニットセンターとなる信州大学とともに本年度から3年間で7,200人の妊婦を募集し、調査に必要な情報収集を行います。

「連続市民公開講座」 受講生募集中!

【日時・場所】

開催日:「スケジュール一覧表」参照
会場:山梨大学 甲府東キャンパス
A2-21教室

定員:330人
時間:午後1:30~3:00まで
(午後1時開場)

受講料:無料

【申込方法】

受講希望日・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、下記のいずれかの方法で「山梨大学教務課公開講座担当」宛まで送付してください。(事前申込が無くても当日参加可能です。)

◎葉書・封書の宛先

〒400-8510
甲府市武田4-4-37
山梨大学教務課

◎電話・FAXの場合

TEL 055-220-8043
FAX 055-220-8796

◎電子メールの宛先

std-admin@yamanashi.ac.jp
題名は「連続市民公開講座申し込み」

山梨大学では読売新聞甲府支局と共催し、「あすの生命と健康を見つめる」と題した全10回の連続市民公開講座を開催します。今回は、「食」をテーマとして、私たちの生命(いのち)と健康の源である「食」を見つめなおします。

第4回まで終了していますが、これから開催される講座がありますので、ぜひご参加ください。

【スケジュール一覧表】

No.	講義日程	テーマ	講師
1	4月17日(土)	新たな発酵食品の開発~海洋酵母ワインと大豆ヨーグルト~	柳田藤寿教授 (ワイン科学研究センター)
2	5月15日(土)	食は咬むことから~咬み合わせ改善治療の最前線~	原田 清教授 (医学部歯科口腔外科学講座)
3	6月19日(土)	動いて、食べて、眠る~食事で睡眠不足を補えるか?~	福永 茂教授 (教育人間科学部保健体育講座)
4	7月17日(土)	“食”と体温調節~摂食と体温、免疫、睡眠のとても深い関係~	三枝岳志講師 (医学部生理学講座第1教室)
5	9月18日(土)	おいしさの科学~私たちは香り(匂い)で味わっている~	時友裕紀子教授 (教育人間科学部家政教育講座)
6	10月16日(土)	食生活と糖尿病・メタボ~「今から」でも出来ること~	小林哲郎教授 (医学部内科学講座第3教室)
7	※11月13日(土)	機能性食品としてのキノコ~健康パワーの秘密を探る~	中村和夫准教授 (工学部生命工学科)
8	12月18日(土)	ワインの成分~ポリフェノールと健康~	奥田 徹教授 (ワイン科学研究センター)
9	平成23年 2月19日(土)	食と免疫~食物が免疫系の発達や機能に与える影響~	中尾篤人教授 (医学部免疫学講座)
10	平成23年 3月19日(土)	わたしたちの生活と食育~食生活の課題と学校教育での食育~	志村結美准教授 (教育人間科学部家政教育講座)

※11月のみ第2土曜日の開催。そのほかは、第3土曜日(1月と8月を除く)

☆講座の内容等は、ホームページ

(http://www.yamanashi.ac.jp/modules/extension_courses/index.php?content_id=10)をご覧ください。

編集後記

今年も暑い夏がやってきました。暑中お見舞い申し上げます。

「Vine」第11号をお届けします。まもなく前期授業が終了し、学生は約2ヶ月間の夏季休業に入ります。賑やかだったキャンパス内も少し静かになりますが、8月上旬には各学部のオープンキャンパスや公開授業に参加する高校生、保護者の方々で再び活気づくことでしょう。

さて今年の夏休み。あなたはどのように過ごしますか? 読書、旅行、スポーツ、資格取得、アルバイト、就活、卒論…。何かに打ち込んだり、新しいことに挑戦する絶好の機会です。心と体をリフレッシュし、元気をチャージして、秋からの大学生活に備えたいものです。

「Vine」は今年も年3回発行します。山梨大学の取組みや大学生活の「今」、教職員・学生の「生の声」を学内外に発信していきたいと考えています。「Vine」を読んでのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

広報誌専門委員会委員長 田中 勝



表紙作品の紹介

タイトル

「記憶」

伊藤奈津美

教育人間科学部
美術教育専修3年

山梨大学広報[ヴァイン] August 2010 vol.11

発行者:山梨大学広報誌専門委員会

[本誌に関するご意見・お問い合わせ先]

山梨大学総務部総務・広報課広報グループ

TEL:055-220-8006 FAX:055-220-8024

E-Mail:koho@yamanashi.ac.jp

山梨大学ホームページ

<http://www.yamanashi.ac.jp/>

